単施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年　8月　15日

【研究課題名】

病院前救護におけるqSOFAスコアの敗血症に対する有用性の検討

【研究期間】

研究倫理審査委員会承認後～2019年3月末

【研究対象】

2016年4月1日～2017年3月31日に当院救急外来を救急車で受診し、「感染症」の治療を受けた患者

【研究目的・意義】

敗血症は急性心筋梗塞や脳梗塞と並んで、緊急に治療介入を要する時間依存性の高い救急病態である。病院前救護の段階から早期診断を行い、治療までの時間を短縮する試みがなされてきたが、病院前救護における敗血症の早期診断と引き続く早期の治療介入について、確立したアプローチは存在せず、敗血症の新たな定義であるSepsis-3におけるスクリーニングツールであるquick SOFA(qSOFA)の病院前救護における検討は未だ不十分である。

病院前qSOFAスコアと退院生存およびICU入室との相関を検討する。また病院前qSOFAスコアの重症敗血症・敗血症性ショックに対する診断精度を評価する。

【研究方法】

単施設後ろ向き観察研究。研究対象である患者カルテを後方視的にレビューする。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

カルテ番号、年齢、性別、入院日、退院日、既往歴、居住地種別(自宅、介護施設、医療機関のいずれか)、病院前活動時間、病院前バイタル、病院前介入、救急室バイタル、血液検査データ、昇圧剤使用の有無、診断名、起因菌、菌血症の有無、ICU入室の有無、ICU日数、入院日数、退院生存、28日間生存、90日間生存

【個人情報の取扱い】

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守する。また、関係者は、研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らさない。関係者がその職を退いた後も同様とする。研究責任者及び研究担当者は、症例登録の際には、研究対象者識別コード又は登録番号を用い、当該医療機関以外の者が研究対象者を特定できる情報（氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号等）は記載しない。

また、研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分に配慮する。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：救急科　担当者名：小山智士

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）